

## 4 スポーツ指導者

### 4-1 1番目に「よく行った」運動・スポーツにおける指導者

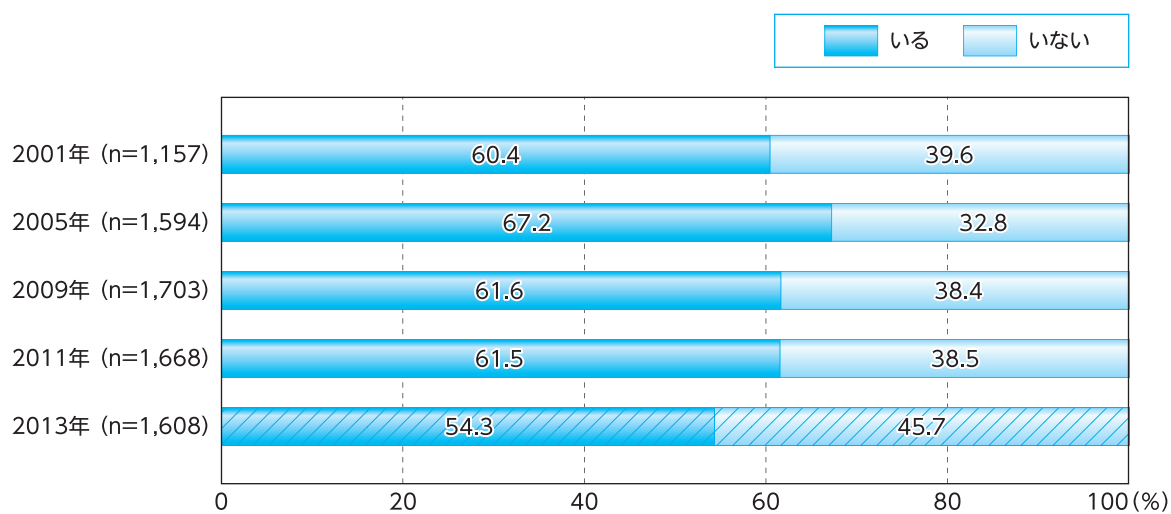
過去1年間に1番目に「よく行った」運動・スポーツについて、スポーツ指導者の有無をたずねた。全体では、指導者が「いる」と回答した者は54.3%であり、2011年の61.5%と比べて7.2ポイントの減少となった(図4-1)。

性別にみると、男子で「いる」と回答した者は57.7%であり、2011年の66.1%から8.4ポイント減少した(図4-2)。女子で「いる」と回答した者は50.1%であり、2011年の56.2%から6.1ポイントの減少となった。過去12年間の推移をみても、指導を受けて運動・スポーツを実施している割合は女子に比べて男子のほうが高く、そ

の傾向は変わらない。

性別・学校期別にみると、指導者が「いる」割合は、小学校期では男子39.4%、女子34.5%と、2011年と比べて男女ともに大きく減少しており、男子は25ポイント、女子は16.1ポイントの減少がみられた(表4-1)。

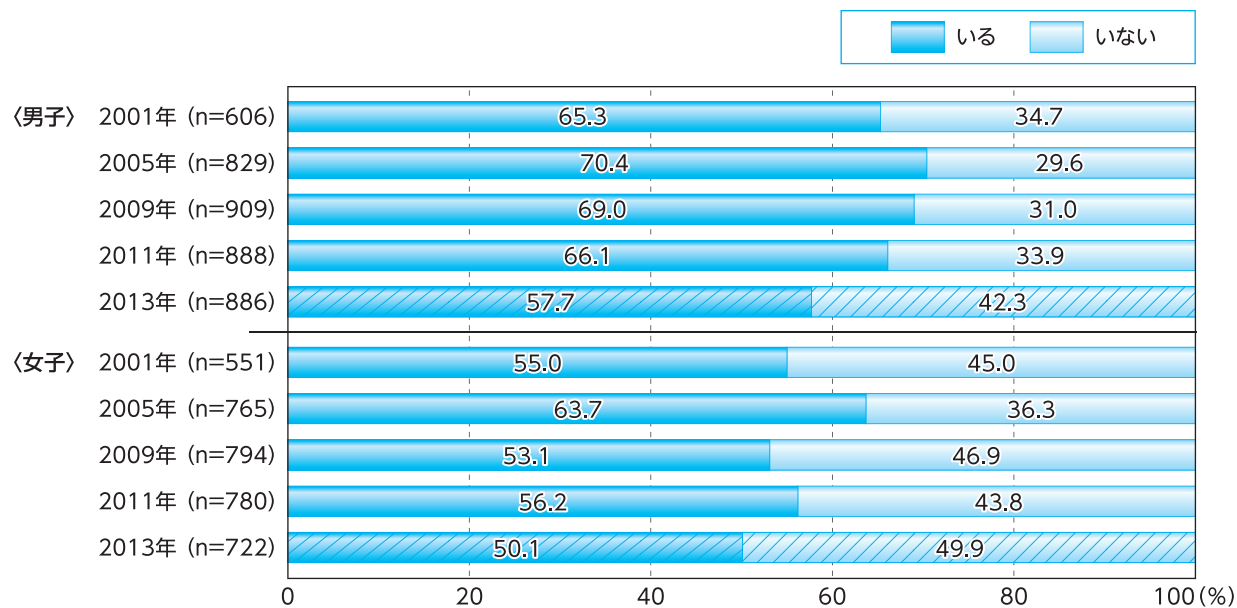
運動・スポーツ実施レベル別にみると、指導者が「いる」と回答した者は、「レベル1」13.7%、「レベル2」41.5%、「レベル3」44.3%、「レベル4」91.7%であり、レベルが上がるにつれて指導者が「いる」割合も高くなる(図4-3)。



【図4-1】スポーツ指導者の有無の年次推移

\*過去1年間に行った最も実施回数の多い種目を分析対象とした。

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013



【図4-2】スポーツ指導者の有無の年次推移(性別)

\*過去1年間に行った最も実施回数の多い種目を分析対象とした。

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

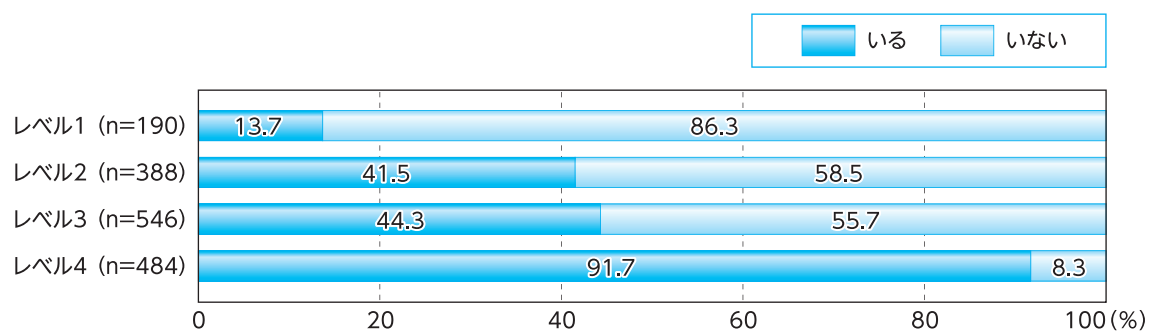
【表4-1】スポーツ指導者の有無の年次推移(性別×学校期別)

(%)

| 2009年 |              |      |      | 2011年 |              |      |      | 2013年 |              |      |      |
|-------|--------------|------|------|-------|--------------|------|------|-------|--------------|------|------|
| 性     | 学 校 期        | いる   | いない  | 性     | 学 校 期        | いる   | いない  | 性     | 学 校 期        | いる   | いない  |
| 男子    | 小学校期 (n=192) | 75.0 | 25.0 | 男子    | 小学校期 (n=191) | 64.4 | 35.6 | 男子    | 小学校期 (n=216) | 39.4 | 60.6 |
|       | 中学校期 (n=310) | 83.5 | 16.5 |       | 中学校期 (n=276) | 84.1 | 15.9 |       | 中学校期 (n=299) | 81.3 | 18.7 |
|       | 高校期 (n=266)  | 67.7 | 32.3 |       | 高校期 (n=280)  | 66.8 | 33.2 |       | 高校期 (n=252)  | 61.5 | 38.5 |
|       | 大学期 (n=81)   | 32.1 | 67.9 |       | 大学期 (n=95)   | 33.7 | 66.3 |       | 大学期 (n=65)   | 21.5 | 78.5 |
|       | 勤労者 (n=42)   | 35.7 | 64.3 |       | 勤労者 (n=33)   | 30.3 | 69.7 |       | 勤労者 (n=37)   | 21.6 | 78.4 |
| 女子    | 小学校期 (n=204) | 57.4 | 42.6 | 女子    | 小学校期 (n=170) | 50.6 | 49.4 | 女子    | 小学校期 (n=168) | 34.5 | 65.5 |
|       | 中学校期 (n=258) | 65.5 | 34.5 |       | 中学校期 (n=266) | 72.9 | 27.1 |       | 中学校期 (n=241) | 66.8 | 33.2 |
|       | 高校期 (n=205)  | 50.2 | 49.8 |       | 高校期 (n=219)  | 55.7 | 44.3 |       | 高校期 (n=208)  | 60.1 | 39.9 |
|       | 大学期 (n=92)   | 26.1 | 73.9 |       | 大学期 (n=93)   | 29.0 | 71.0 |       | 大学期 (n=80)   | 17.5 | 82.5 |
|       | 勤労者 (n=24)   | 29.2 | 70.8 |       | 勤労者 (n=25)   | 24.0 | 76.0 |       | 勤労者 (n=19)   | 10.5 | 89.5 |

\*過去1年間に行った最も実施回数の多い種目を分析対象とした。

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013



【図4-3】スポーツ指導者の有無(レベル別)

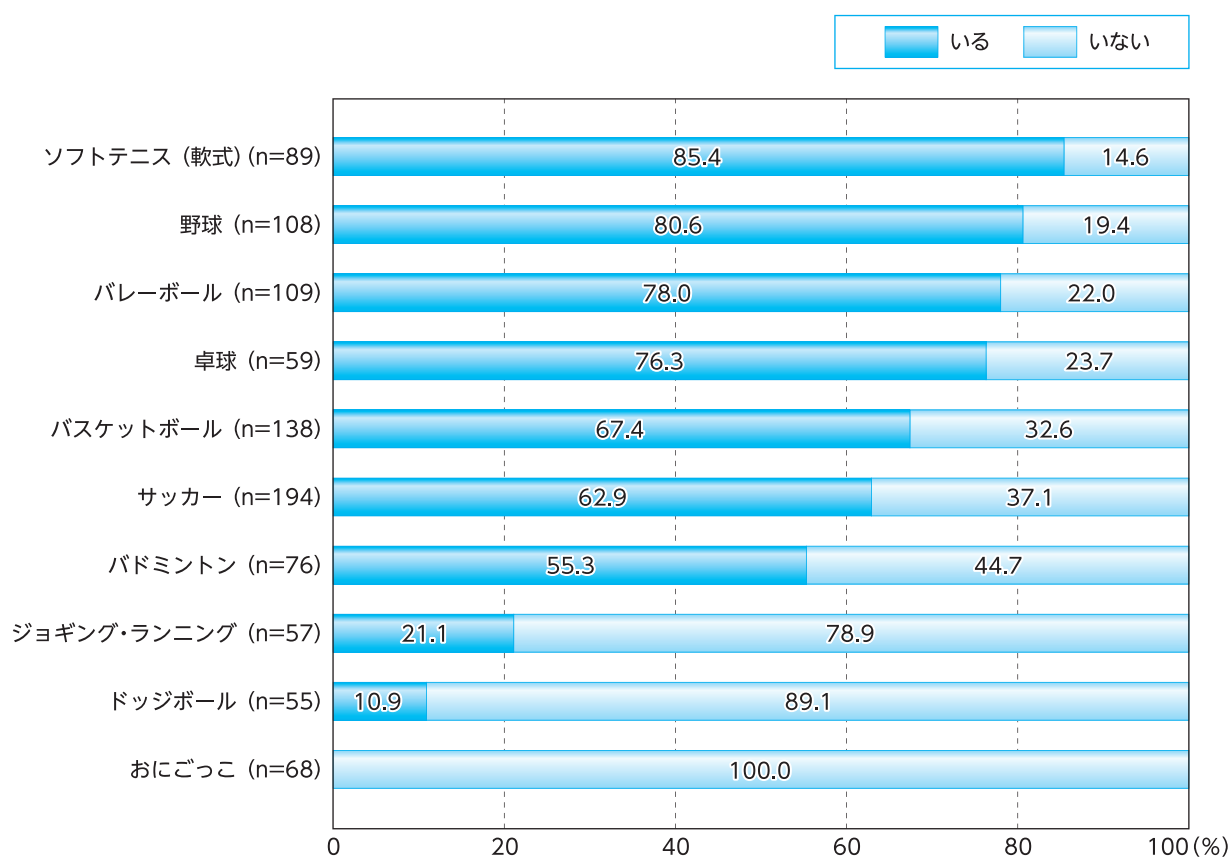
\*過去1年間に行った最も実施回数の多い種目を分析対象とした。

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

## 4-2 「よく行った」運動・スポーツ種目別にみたスポーツ指導者

過去1年間に1番目に「よく行った」運動・スポーツの上位10種目について、スポーツ指導者の有無をみると、指導者が「いる」と答えた割合は、1位「ソフトテニス（軟式）」85.4%であり、以下、「野球」80.6%、「バレーボール」78.0%、「卓球」76.3%、「バスケットボール」67.4%、「サッカー」62.9%、「バドミントン」55.3%、「ジョギング・ランニング」21.1%、「ドッジボール」10.9%であった（図4-4）。「おにごっこ」は、すべての者が指導者のいない状況で行っていた。「ソフトテニス（軟式）」や「野球」は8割以上が指導者のもとで実施している一方、「サッカー」や「バドミントン」は6割程度にとどまっていた。

特に、小学校期では「サッカー」は男子で実施率の高い種目であるが、「野球」に比べて指導者のいる状況は少ない。また、指導者がほとんどいない状況で行われている「おにごっこ」「ドッジボール」は、男女ともに実施率の高い種目である。小学校期において、指導を受けて運動・スポーツをしている割合が減少傾向にある背景として、「サッカー」や「おにごっこ」の実施率の伸びが関連していると示唆される。



【図4-4】実施種目（1番目に「よく行った」種目）別にみるスポーツ指導者の有無（上位10種目）

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013